Martin H. McCarthy, Ph.D

Martin H. McCarthy 氏は、アメリカ合衆国ＵＣＬＡ，ドイツミュンヘン大学、そして日本では東京の上智大学にて教育を受けました。　専門の学位としては国際関係学、特にアジアと日本との関係に特化した卓越した研究学者であり、経営者でもあります。彼はこれまで、世界の実に 65 カ国を歴訪、専門分野研究と学問の応報実践を継続的に重ね、今なお弛まずその国際的アンテナを伸長し、鋭敏な国際的感度を保ち続けている、たぐいまれなアカデミック・ビジネス実践者です。

McCarthy 氏は、カリフォルニア大学ロサンゼルス校（ＵＣＬＡ）の国際研究学部長を歴任し、世界 95 カ国からの 5,000 名以上の学生と学識者を統括するＵＣＬＡ国際センター長を務める傍ら、ＵＣＬＡにおいては、学部レベル、学生、大学関係者、また研究プロジェクトの世界規模の旅行企画を当時の大学内の旅行業務としてはじめて定着させた方でもあります。

彼の経営職業人としてのキャリアはまた、ＰＧエレクトロニクスコーポレーション（ハイテク航空宇宙エネルギー管理と資源開発）の社長や、Hugh 青年財団（若い企業化の教育と奮起を促すことを目的とした国際組織）の幹部理事を務めた経験も特筆されましょう。

McCarthy 氏はまた、ロサンゼルス市 Marina del Rey (マリナ・デル・レイ) 地域の商工会議所、ビジターコンベンション事務局の理事会実行委員であり、ビジネスコミュニテイーにおける顕著なリーダーシップを評価され、同市 Marina del Rey の初の名誉市長となった方です。彼はまた、いくつかの事業法人、企業、教育財団、チャリテイー組織の現役の理事・顧問として活躍中でもあります。

McCarthy 氏は、カリフォルニアヨットクラブの総長を歴任しています。このヨットクラブは、ヨットレースの強さで世界有数のクラブであり、1994 年に彼は、大阪からカリフォルニアまでの航海である「パン・パシフィックヨットレース」の指揮を執りました。このレースは、関西国際空港の開港を記念し、大阪府がスポンサーとなり企画、実施が行われたものです。卓越した組織力で、レースの実施を成功に導いた McCarthy 氏は、その後大阪府より表彰を受けています。

McCarthy 氏はまた、生粋のヨットマンとして知られ、大西洋を横断して全長 20 メートルのヨットでアメリカ合衆国からヨーロッパへの航海を成し遂げています。彼の航海歴は南太平洋、地中海、アフリカ、カリブ諸島にも及んでいます。

McCarthy 氏は、環太平洋地域と特に日本に実りをもたらす継続的な国際的な職業実績により、2000 年には、東京都の依頼を受け、東京湾　電飾ヨットパレードにおける国際審判団の一人として、東京に招かれています。

現在は、国際関係と国際ビジネスにかかわる講演や、コンサルテイング業務を多数こなし、アメリカ合衆国のみならず、世界を勇躍している行政関係者であり、同時にアカデミックなビジネスリーダーであると言えるでしょう。